



クリストフ・バロン



# シャンパーニュ クリストフ バロン Champagne Christophe Baron レデュッシュ ドゥ ボア マリー Le Dessus Du Bois Marie 2018

## The People

Horsepower/Cayuse Vineyardのクリストフ・バロンは、1677年までさかのぼるシャンパーニュ地方の長い歴史を持つヴィニユロン(ブドウを栽培し醸造まで行う)の家系に生まれました。彼の専門知識は、アヴィズ(シャンパーニュ地方)とブルゴーニュのワインの中心地ボーヌでの研修で磨かれ、そこでテロワールという言葉の本当の意味と重要性を学びました。彼のこの新しいプロジェクトに参加したのは、クリストフの従姉妹であり、シャンパーニュ・バロン・アルベルトのクレア、リゼ、アリーヌ、そして妹のイザベルです。もちろん、クリストフの両親オデットとジルベール・バロンからこれらの貴重なブドウ畑を受け継いだことがなければ、この事業は成り立ちませんでした。

## The Estate

“シャンパーニュの門”と呼ばれるパリとランスの間にあるマルヌ渓谷の西部、ワイン通がパリからシャンパーニュ地方を旅する際に最初に入る地域にシャンパーニュ・クリストフ・バロンは位置しています。非常に古いピノ・ムニエのみのシャルリ・シュル・マルヌ村、クルット・シュル・マルヌ村、ポルテロン村に囲まれた3ヘクタールの畑を所有、収量がとても少ないため、生産量は極僅かです。ピノ・ムニエはマルヌ渓谷の西部地区の伝統的な品種であり、シャンパーニュ・クリストフ・バロンの独自のアプローチとビジョンの基盤を形成しています。単一畑、単一ヴィンテージ、単一ブドウというドメーヌの哲学は、テロワールがすべてを語ることを可能にし、それぞれの区画の特徴を強調しています。この地域の伝統的な農法と土壌の栽培方法を生かすためのユニークなワイン造りと言えます。

## 畑 Le Dessus du Bois Marie

Crouttes-sur-Marne(クルット・シュル・マルヌ)の町に位置するこの畑は、海拔136メートル、0.768haの広さを誇ります。1966年に7%の緩やかな南向きに斜面に植樹されました。Le Dessus du Bois Marie(レデュッシュドゥボアマリー)は、日本語で“マリーの木の上”という意味です。

## 97ポイント Owen Bargreen

このピノ・ムニエ100%のシャンパーニュは、グラスの中で美しい蜂蜜色を見せる。塩味を帯びたオイリーなブラジルナッツ、カリン、ネクタリンの皮、みずみずしいグアバの香りが嗅覚を満たす。味わいは大きく厚みがあり、ヴィンテージの暑さからくる重みを感じられる…。力強さと美しい緊張感を併せ持つ、非常にシームレスなシャンパーニュ。塩辛いニュアンス、粘性、根底にあるフィネスが、このワインをすべての条件を満たすものになっている。クリストフ・バロンによるこの逸品は、非常に長いフィニッシュが待っている。



産地： シャンパーニュ  
品種： ピノ・ムニエ 100%  
アルコール： 12.5%  
農法： オーガニック農法  
植樹： 1966年

栽培面積： 0.768ヘクタール  
標高： 135.9m  
デゴルジュマン： 2022年4月  
リリース日： 2023年10月16日  
生産数： 1,607本(マグナムのみ)

1本特別木箱入り  
希望小売価格：  
¥50,000(税込 ¥55,000)[1500ml]



輸入発売元

オルカ・インターナショナル株式会社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-2-19 9F  
TEL 03-3803-1635 FAX 03-3803-1637 www.orca-international.com